

地域リハビリ研修会



2021年11月～2022年1月に実施した地域リハビリ研修会です！

当院は **地域リハビリテーション広域支援センター** です！

当院は、地域におけるリハビリテーション支援体制を推進するための施設として、広島県から指定を受けています。地域リハビリ活動の一環として、地域リハビリ研修会を年に数回開催している他、出前リハビリ講座の実施、広報誌やホームページ、退院患者統計での情報発信などを行っています。

全3回
シリーズリハビリ用語
解説します!!

検査・評価の巻

リハビリ用語を分かりやすく説明をすることはなかなか難しいものです。今年度は地域の皆様の生き生きとした生活を支えるケアマネジャー・ヘルパーの方を対象に、リハビリ用語についての講座を全3回シリーズで開催しました。リハビリ用語の解説を通して検査の種類や方法、重要性を知り、介護度や生活環境に応じたリハビリテーションサービスの向上へと繋げていただけましたら幸いです。

1 身体・運動機能の用語

2 精神・高次脳機能の用語

3 摂食嚥下機能の用語



講師： 理学療法士 芦澤 建太
理学療法士 松四 健太
受講者数： 24名

参加者の声

- 今回の研修で学んだBRS、TUGについて、今後LIFEなどを使うことになったときに役立つと思いました。
- BRSのそれぞれの評価がどのような意味を持つのか理解できました。
- リハビリの専門用語とその評価の具体的な内容を知ることにより、利用者さんをイメージしやすくなりました。
- リハビリ計画書の見方や内容がわかってよかったです。



精神・高次脳機能の用語

2021.12.8 (水) 13:30～14:00



▲当院のケアマネジャーも受講しました。

シリーズ2回目は、精神・高次脳機能の用語について解説しました。ケアマネジャーさんからの「高次脳機能障害と認知症の違いが分かりにくい」との声から、はじめにその2つの違いを説明し、事例などを使って検査の説明をしました。高次脳機能障害の症状のひとつであるコミュニケーション障害については、言語聴覚士と患者さん役のスタッフによる再現動画でご紹介しました。用語だけでなく検査や評価の大切さにも着目した講座となりました。

参加者の声

- 高次脳機能障害と認知症の違いについての説明がわかりやすかったです。
- MMS Eは認知症と高次脳機能障害をスクリーニングする検査ということを知りました。
- リハビリの代償手段についてや関わり方が具体的で参考になりました。
- 失語症と構音障害の違いについて理解できました。



摂食嚥下機能の用語

2021.1.12 (水) 13:30～14:00



▲反復唾液飲み検査の方法を実演しました。

最終回は、「摂食嚥下機能」に関する用語について解説しました。リハビリテーションサマリーの嚥下障害項目のグレードの意味や摂食嚥下のメカニズムを、イラストを使って解説しました。動画で患者さんのお食事や飲み込みの様子を見ながら、摂食嚥下障害や誤嚥とムセのしくみを説明しました。水分でムセる場合のとりみづけのコツについては身近な食材を例にしてお話ししました。嚥下の変化に気づき、医療機関へ相談するきっかけにさせていただきましたら幸いです。

参加者の声

- 嚥下の仕組みや嚥下障害を引き起こす要因がわかりました。
- 嚥下の状態を動画で見ることができたのでムセない誤嚥がどんなものかよくわかりました。
- サマリーの見方やとろみの粘性などについて参考になりました。
- 舌圧測定や反復唾液飲み検査など、今後の支援に役に立ちそうです。



2021年度はオンライン開催でしたが、累計61名のケアマネジャーや介護施設関係者の皆さんにご参加いただきました。今後も地域の皆さんの生活に役立つ講座を開催してまいります。